



## 今月の話題

- 第16回世界地震工学会議出席
- グローバル地震観測コース研修旅行レポート(2月1日~4日)
- 中南米記者グループの取材
- 国際親善パーティー
- 研修修了生の博士号取得

## 研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

## 第16回世界地震工学会議出席

国際地震工学センター 主任研究員 林田 拓己

今年1月10日~14日の5日間にわたり、チリの首都サンチアゴで第16回世界地震工学会議(WCEE)が開催されました。世界地震工学会議は、地震工学に関する広範な分野での研究発表が行われる世界最大の国際会議であり、4年に一度開催されています。国際地震工学センターからは横井、鹿嶋、小豆畑、林田の4名が参加し、他にも建築研究所・材料研究グループの植本上席研究員、構造研究グループの向井主任研究員、中村研究員が参加しました。

学会開催中には国際地震工学センターの展示ブースを出展し、来場者へ研修内容および今後の研修参加に関する情報の説明を行いました。本大会には20名を超える帰国研修生や関連機関の関係者、講師の先生方が多く参加されていたことから、ブースには多くの方々に来てくださり、盛況のうちに展示を終えることが出来ました。また、1月11日の夜には元研修生や研修関係者の皆さんで集まり、市内のレストランで同窓会を開きました。他の行事や体調不良などで同窓会に参加できなかった方々がいたことは残念でしたが、11名の元研修生に駆けつけていただき、旧交を暖めることができました。

また、本大会の期間中に第17回WCEE開催都市の選挙が開かれ、2020年に仙台市で開催されることが決定しました。東京オリンピック・パラリンピック閉会直後の9月中旬に開催される予定です。多くの皆様とお会い出来ることを心待ちにしています。

参加者の研究発表題目(邦題:第一著者のもの)

横井:建築研究所国際地震工学センターの地震工学分野の人材育成

鹿嶋:強震記録に基づく2011年東日本地震の際の中層建物の地盤と建物の相互作用効果

小豆畑:地盤-建築構造の動的相互作用に関する強震観測及び微動観測記録



同窓会の様子

## 地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

## 論文募集

IISEE Bulletinは、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



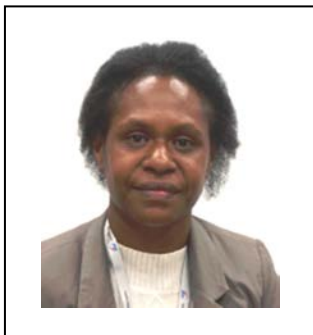
に見られるノイズの分析果

林田:福島県いわき市の稠密地震観測記録を用いた S 波速度構造モデルの検証

## グローバル研修旅行研修生レポート(2月1日~4日)

(1)Ms. Deslone Yaninen LANBONG (パプアニューギニア)

広島では平和記念公園にある、原爆ドームと平和記念資料館を訪れました。ここでは、被爆体験者のお嬢さんである森河さんのお話を聞くこともできました。資料館だけでなく、彼女の講話も非常に教育上望ましいものでした。原爆の身の毛のよだつ事実は私にとっては歴史の本の中の出来事であって、身をもって実感したことはなかったからです。



今回の経験で、原爆投下の背景にある情動を実際に感じる事ができました。核兵器完全撤廃の推進と世

界平和がいかに大切か、また、日本の姿勢のみでなく、CTBTO の役割の重要性を学ぶことができました。

阪神淡路大震災の記念公園にある野島断層保存館、人と防災未来センターでは、地震と津波の破壊的な影響がどのようなものか、命と土地を救うための地震・津波早期警報システムの構築および実施の必要性を体感するだけでなく、耐震建築物を初めて見る事ができました。



原爆ドーム

(2)Mr. Innocent Gibbon Masukwedza (ジンバブエ)



研修旅行では、原爆ドームの名で知られる広島平和記念碑を訪れました。原爆ドームは広島平和記念公園内にあり、1996年にユネスコの世界遺産に登録されました。運命の1945年8月6日に原爆が投下され、それにより命を失った人々を追悼する役割を担っています。記録によると、原爆により7万を超える命が瞬時に奪われ、また別の7万人が被爆により致命傷を負ったとのことでした。

しかし、惨禍の全容が真に伝わって来たのは、廃墟となった原爆ドームよりも原爆記念資料館で講師から聞いた話でした(講師の母親は原爆生存者)。母親の被爆体験を話すことを通じて、講師は核兵器廃絶の必要性を広く伝えることに大きく貢献しています。核兵器は作られるべきではなかったし、核実験も二度と行われるべきではありません!

また、野島断層保存館、人と防災未来センターでは、過去の地震による壊滅的被害及びその後の地域社会への影響について学びました。その他、宮島、二条城、金閣寺、京都御所の見学では日本の文化遺産に触れ、私達全員が感銘を受けました。



楽しむのは今です。



野島断層保存館



被爆体験伝承講話



宮島

## 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEEと卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp  
http://iisee.kenken.go.jp

## 中南米記者グループの取材

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広

外務省の招へい事業で来日された、各国で影響力を有する主要メディアの報道記者のグループ(7カ国7名(ボリビア、チリ、エクアドル、エルサルバドル、パラグアイ、ペルー、ベネズエラ))が、2016年2月1日に、国際地震工学研修の視察に来られました。

視察では、地震観測や基礎構造の研修講義風景の見学や、中南米の研修生に対するインタビューなどが行われました。

来日された報道記者の記事や研修生の



(左から)ペルーの記者と横井センター長、Tコースのナビルト(ペルー)

バックナンバーは  
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

今後の活躍により、各国での国際地震工学研修の理解や地震防災対策の向上が期待されることです。



インタビューを受けるニカラグアのアミルカー、エクアドルのレオナルド、エドウィン、ニカラグアのドミンゴ(左から)



インタビューを受けるメキシコのホナタン(右)とガラビス(左手前)

Relato 16 @LPG@social 11 FEBRERO 2015



La oportunidad de aprender sobre sismos en Japón

Es mediodía en Tsukuba, Japón. Alejandra, Juan Diego y Yuseki recién han salido de una clase sobre terremotos en el Instituto Internacional de Sismología e Ingeniería de Movimiento Sísmico de ese país asiático. Es la hora del almuerzo y estos tres saludoseros chilenos...

1,751

21

18 @LPG@social 11 FEBRERO 2015



"Venimos a aprender más sobre el tema porque sabemos las dificultades que tenemos como país para encarar toda la actividad sísmica que nos caracteriza. Debéramos estar preparados, pero no lo estamos"

"Es importante tomar las herramientas de acá, de Japón, que nos permitan entender cómo funciona nuestro sistema constructivo"



Alumnos. Trabajó en un aula para dar un curso sobre sismos y terremotos para el terremoto del 11 de febrero de 2015.

エルサルバドルで発行された新聞、ラ・プレンサ・グラフィカ紙

国際親善パーティー

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広

2016年2月7日のお昼休みに、通年コースとグローバルコースの研修生及びIISEE スタッフとのフレンドシップパーティを建築研究所内の食堂で行いました。坂本理事長も出席のもと、楽しい時間を共有できました。





## 研修修了生の博士号取得

*Riaz Ahmed Soomro* 博士

*Manager Software development* 部門 微小地震研究プログラム、Nilore, Islamabad

2015年10月にドイツのKielにあるChristian - Albrechts大学の地球科学研究所で地震学の博士号を取得したことをご報告します。学位論文の題名は「自動化された表面波分散曲線の測定と中央及び北部ヨーロッパの表面波トモグラフィ」です。この研究では、主に表面波、地震波伝播、表面波のインバージョン解析について研究しました。レイリー波及びラブ波の高品質な位相速度カタログを求め、中央及び北部ヨーロッパの高解像度位相速度分布を得ました。私が通年研修の2008-2009コース(地震学コース)の研修修了生であったことを改めて申し上げます。現在はパキスタンの所属機関に戻っています。